

住民のため鉄道、道路を整備

■印西市特集■ 12月県議会一般質問



12月県議会一般質問。自席で再質問をする瀧田県議

県政から築く

印西市の元気な明日

たまたた敏幸県議

北総鉄道の高運賃是正を訴え

瀧田 北総鉄道の高運賃問題について、県はこれまでどのように対応してきたのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

瀧田 平成13年調査では、線路使用料は維持管理費のみで、過去の線路敷設費用は考慮されていない。結果として沿線の県民が不公平な扱いを受け、不利益をこうむる可能性が高いと思うがどうか。

瀧田 北総鉄道が過去に投資した線路敷設費用を考慮した線路使用料が設定されるべきと思うがどうか。

また、維持管理費のみとしたその理由と合理的根拠について伺いたい。

総合企画部長 線路使用料の設定は、線路を持つ成田空港高速鉄道(成田空港―土屋)・成田高速鉄道(土屋―印旛日医大)・千葉ニュータウン鉄道(印旛日医大―小室)・北総鉄道(小室―高砂)の4つの線路を京成が運行する成田新高速鉄道が走るという状況です。



県議会で挙手をして積極的に発言す瀧田県議

小林駅前広場など進む

■道路整備■

瀧田 県道千葉龍ヶ崎線バイパスは、千葉ニュータウン地区と印西市街地方面とのアクセス向上などを図るため、ニュータウン区域内の都市再生機構施工区間と合わせ延長3・4キロの整備を進めているが、進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県施工区間の約2・5キロについて、現在、用地買収を進めており、19年度末の用地取得の進捗状況は約32%です。今後とも都市再生機構、印西市などと連携し、整備を進めています。

市小林地先について、今後どのように整備を進めていくのか。

また、協議の場合は、市町村がまとめ役を果たすことが望ましく、商業者だけでなく消費者の地域住民やNPO等の団体の参加を促し実効性を高めたい。

12月県議会自民党代表質問

乳幼児医療費の拡大強く要請

12月定例県議会最大会派自民党の代表質問に、石橋清孝県議(東金市選出、3期)が登壇しました。石橋県議は、少子化の中、県民要求の強い乳幼児医療費助成事業について、通院医療費助成の対象を小学校就学前までに拡大するよう、県の決断を促しました。これに対し、植田浩副知事は「10月から助成対象を1歳引き上げ4歳未満とした」と報告。そして「県議会の意見や県民の強い要望を踏まえ」と、さらなる対象の拡大は必要と認識しているとして、本県の厳しい財政状況や他県などの状況を踏まえて「長期安定的に実施するために、所得制限の導入や自己負担額の増額なども視野に入れて調整中」と拡大に前向きな回答をしました。石橋県議は「負担金や所得制限等の条件はあっても、小学校就学前までに拡大すべき」と重ねて要請しました。

地域活性化

地域店と大型店協働の取り組み

瀧田 商業者の地域貢献に関するガイドライン策定に当たっての基本的な考え方は特徴は何か。

商工労働部長 今年度中の公表を目指して現在策定中のガイドラインは、大型店と地域商業者の協働の取り組みを促進することが重要と考えています。主体を大型店に限定せず全ての商業者を対象として地域活性化の協力を促すことが特徴です。さらに継続的に話し合う「協議の場」を設置するよう提案しています。

瀧田 ガイドラインの実効性を高めるため、県はどのように取り組んでいるのか。

商工労働部長 周知はもとより、地域貢献活動や「協議の場」の情報を公表していきます。